

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

| | |
|--------------------------------------|--|
| 名称：わらべうた武蔵小杉保育園 | 種別：保育所 |
| 代表者氏名：園長 山内 結実子 | 定員（利用人数）： 60名 |
| 所在地：〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東2-924-65 | |
| TEL：044-948-9252 | ホームページ： https://www.kidslife-nursery.com/facility/kanagawa/kawasaki/musashikosugi/ |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日：2016年4月1日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：HITOWAキッズライフ株式会社 | |
| 職員数 | 常勤職員： 16名 非常勤職員 2名 |
| 専門職員 | （専門職の名称） |
| | 保育士： 14名 栄養士： 2名 |
| | 看護師： 1名 |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） |
| | （設備等） |
| | 5（0歳児室・1歳児室・2歳児室・幼児室・事務室兼医務室） |
| | 調理室・シャワー室・乳児用トイレ・幼児用トイレ・大人用トイレ |

③理念・基本方針

| |
|---|
| <p>【保育理念】</p> <p>～子どもの時間が流れる保育園～</p> <p>家庭のようなあたたかい場で、いきいきとした「生活」と「あそび」を子どもたちに。</p> <p>【保育方針】</p> <p>◆自立して生きる未来の力を育てることを見通し、子ども一人ひとりの今を心から尊重します。</p> <p>◆安心できる人間関係の中、子どもが自分に出会い、仲間と共に生活をする力を育みます。</p> <p>◆多様な経験をし、問題は必ず解決できる自信を重ね、意欲的に学びにむかう力を育みます。</p> <p>◆丁寧な生活を営み、自分で決める経験を自信に、自らルールに気づき生活を創りだす力を育みます。</p> <p>◆保護者・地域・保育者が感動をわかち合い、成長を見守るパートナーとして、一人ひとりの子どもの生きる力を育みます。</p> |
|---|

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・ふぁんぱりんタイム
- ・リズムモン
- ・リズム運動

- ・セカンドステップ
- ・公園清掃活動
- ・中原区花壇整備お手伝い活動

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|--|
| 評価実施期間 | 2020年6月29日（契約日） ～ 2021年3月12日（評価結果確定日） |
| 受審回数(前回の受審時期) | 回（ 年度） |

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・食育絵本や野菜の栽培を通して食を営む力を育む取り組みを行っている
各月の全体のお誕生会の日には、その月の絵本の内容に沿った絵本給食を提供している。「ぐりとぐら」のケーキや、「おばけのてんぷら」などが実際に給食やおやつ時間に提供され、子どもたちが絵本の世界の楽しさを共有している。プランターで育てた野菜を給食に取り入れて提供することで興味を持ち、保護者アンケートでも、「プランターでピーマンを育てていて、家では食べないのに保育園のは美味しかったと言っていました。」などの意見が見られた。

- ・戸外活動を通して環境の大切さや地域との交流を深めている
保育目標の、「つながる力を育む～友だちも大人も大好き」のもと、近隣の保育園と一緒に地域の公園の清掃活動や、花の手入れを定期的に行っている。活動を通して子どもたちが作成した美化ポスターを区役所に提出して公園に掲示してもらうなど、環境の大切さを学ぶ機会としている。また、地域の商店、病院、公的機関との関わりを活動計画に取り込み、社会的ルールの学習、友達との協働などを地域活動と一体的に学んでいく機会を大切にしている。

- ・子育て支援新聞の発行によって地域の子育て支援に力を入れている
地域の未就園家庭の支援として、子育て支援イベントのほか子育て支援新聞を作成し発行につなげている。園では保護者への配布や玄関外ポストに配置しているほか、未就園家庭に向けて中原区児童家庭課にも届けている。家庭へのアンケートを実施した結果についても、子どもの生活や保護者が気になることなどを記事として伝えて、子育てのヒントになることを目指し取り組んでいる。新しい生活様式における子育て支援の一つとして注目できる。

◇改善を求められる点

- ・保育実践の振り返りを通して、保育の専門性の向上に繋がることを目指している
年度の初めに職員が各自で目標シートを作成し、半期ごとに園長との面談と合わせ振り返りを行っている。その際には、子どもの心の育ちや意欲、取り組む課程に配慮して、次につなげるよう助言や指導を行っている。言葉の発達や子どもとの関わり方やなど、職員希望する保育の専門性の向上に取り組めるよう、勉強する時間が取れる配慮が望まれる。

- ・園の機能や専門性をさらに地域に還元することが望まれる
子どもと地域とののかかわりを大切にしており、定期的な公園清掃、花壇の世話、地域の子育てイベントへの参加活動を行うことで社会的体験が得られる機会を設けている。また、例年であれば、食育の一環として隣駅のスーパーに買い物に行ったり、地域の未就園親子向けの商業施設でのイベントに園として参加したりして、園児が未就園児

と触れ合う機会を設けている。さらに、園としての地域支援として、園の機能や専門性を地域に還元する取り組みを充実することを旨されたい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審し、客観的な視点から園の保育や運営を見直し、新たな視点を得ることができました。

今後の活動に活かしていくことでより良い園作りに繋げ、保護者の子育て支援や子どもたちの育ちに資する園運営を行っていきたいと考えています

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり